

須木中だより

第7号 令和元年8月9日発行

夏休みも残り2週間です



7月20日(土)から始まった夏休みも、残り2週間程になりました。1学期後半をスムーズにスタートさせるためにも、夏休みの課題をしっかりと提出できるように計画的に学習に取り組んでほしいと思います。

また、健康で安全な生活を心がけてください。

「かわいそうなぞう」

今から70年以上前、その頃の日本は戦争をしていました。

東京の町には、毎日のように爆弾が落とされていたそうです。

もし、動物園に爆弾が落とされたら、動物たちが町に逃げ出し、暴れ出すのではないかと心配になり、動物園では、トラやライオンや他の動物を次々に、毒を飲ませて死なせました。



最後に残ったのが、「ジョン」、「トンキー」「ワンリー」という3頭の「ぞう」でした。

始めに「ジョン」です。大好きなじゃがいもに毒を入れて与えましたが食べません。

大きな注射をしましたが、皮が厚くて注射針が折れてしまいます。仕方なく食べ物を与えずにいと、17日目についに死んでしまいました。

続いて、「トンキー」と「ワンリー」の番です。餌を与えない日が続き、だんだんややせ細って動けないほどになりました。そして、やっと立ち上がり、えさをくださいと言うように、芸をするではありませんか。

やがて、20日ほどたって、「トンキー」も「ワンキー」も動けなくなり、万歳の芸をしたまま死んでしまいました。

動物園の人たちは、みんな「ぞう」に抱きつき、東京の空に爆弾を落とす飛行機に向かって『戦争をやめろ』と叫びました。

この話は「かわいそうなぞう」という本からとりあげました。



6日(火)は広島原爆の日、また今日9日は長崎原爆の日でした。



そして、8月15日(木)は74回目の終戦の日をむかえます。

令和という新しい時代になっても、この日は正午の時報に併せて1分間の黙祷をささげ、亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、世界の平和を願う気持ちを一層高めてほしいと思います。

令和元年度「ふるさとプロジェクト」

例年、開催してきております「ふるさとプロジェクト」が7月27日(土)に、烏田町の『いろどりの里』を会場に実施されました。

児童生徒、小中学校保護者・職員、区長さん、友愛クラブの方々総勢120名が参加されました。8グループに分かれての飯盒炊さん、魚釣り、そして前日から保護者の方に準備していただいたカレー。飯盒で炊いたご飯で食べるカレーライスは格別の味で、美味しくいただきました。

参加した全員が交流を深め、楽しい時間を過ごすことができました。

終了後、午後から中河間地区は、「にじますのつかみ取り」を行っていました。また、原地区は、朝から体験学習を行い、お昼はソーメン流しを行い区内での交流を深めています。

準備や当日の運営に携わっていただいた実行委員会、保護者の皆様、さらに、会場を提供いただきました夏木様、ありがとうございました。



三者相談、ありがとうございました

7月末に実施させていただきました三者相談では、御多用の中、来校いただきましてありがとうございました。

いよいよ明日10日(土)は「第42回すき納涼花火大会」が開催されます。今日は午前中、子どもたちは机・椅子運びやテント設営を頑張ってくれました。

明日は8時から、各地区の方や実行委員会の方々を中心に朝の準備が行われます。中学生の参加も大歓迎ですので、都合のつく生徒・保護者の方はご協力をお願いいたします。

なお、翌日11日(日)は毎年行っていますゴミ拾いや机・椅子等の片付けを朝6時から行います。既に連絡メールでお願いしておりますが、皆様のご協力をよろしくをお願いいたします。

